

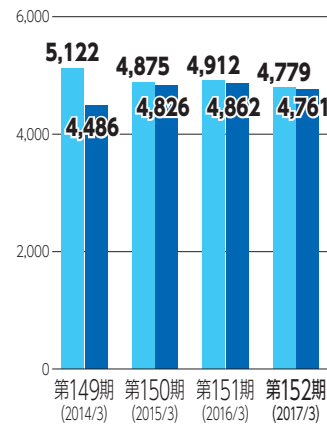
第152期

報告書

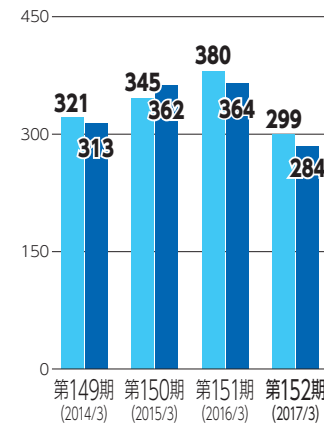
2016年4月1日から2017年3月31日まで

- P1 連結決算ハイライト
- P2 トップインタビュー
- P4 中期経営計画「E-Plan2016」の総括
- P5 コーポレート最前線（新中期経営計画「E-Plan2019」）
- P7 セグメント別の概況／年間トピックス
- P9 セグメント情報
- P12 連結財務諸表
- P13 株式の状況・IRカレンダー
- P14 会社概要
- P15 株主様へのご案内
- P18 社会貢献活動／畠山記念館へのご招待
- 裏表紙 身のまわりで活躍する荏原

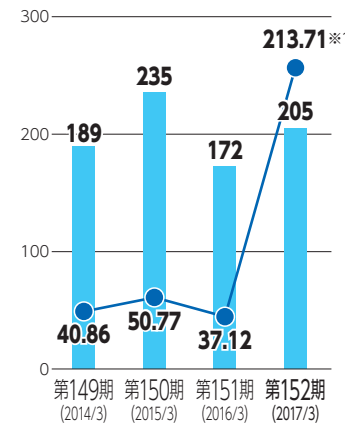
● 受注高 (単位: 億円)
● 売上高 (単位: 億円)



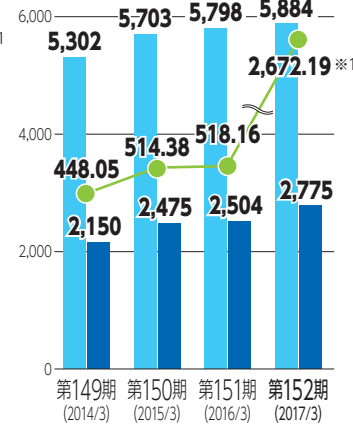
● 営業利益 (単位: 億円)
● 経常利益 (単位: 億円)



● 親会社株主に帰属する当期純利益 (単位: 億円)
● 1株当たり当期純利益 (単位: 円)



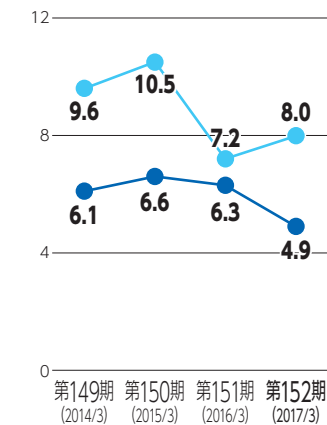
● 総資産 (単位: 億円)
● 純資産 (単位: 億円)
● 1株当たり純資産 (単位: 円)



※1 2016年10月1日付の株式併合(5株を1株に併合)に伴い、第152期の1株当たり当期純利益及び1株当たり純資産は従来の5倍になっています。

※2 当連結会計年度において、第151期に行われた企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、第151期の総資産について暫定的な会計処理の確定の内容を反映させています。

● 自己資本当期純利益率 (ROE) (単位: %)
● 総資産経常利益率 (ROA) (単位: %)



連結業績ハイライト

売上高	4,761 億円	前年度比	2.1% ↓
営業利益	299 億円	前年度比	21.1% ↓
経常利益	284 億円	前年度比	22.0% ↓
親会社株主に帰属する当期純利益	205 億円	前年度比	19.3% ↑
1株当たり年間配当金	36.00 円	前年度比	0.00 円 →

内訳 中間配当金: 6.00 円 期末配当金: 30.00 円※

※2016年10月1日付の株式併合(5株を1株に併合)に伴い、期末配当金は1株当たり30円(実質前年度末と同額)となりました。



新中期経営計画「E-Plan2019」スタート。
市況変動に左右されない収益基盤を築き、
「成長への飽くなき挑戦」を実践します。

代表執行役社長

前田 東一

Q

第152期の営業状況を振り返り、
総括願います。

第152期(2016年度)の事業環境は、海外では米国の好調に加えてアジアも景気が上向きに転じ、国内では公共投資が底堅く、民間設備投資も持ち直しました。

そうした中で当社グループの営業状況は、精密・電子事業が好調に推移したものの、風水力事業の受注が減少し、エンジニアリング事業も前年度の好調要因だった長期包括案件の受注が反動減となったことから、全体では受注高・売上高ともに前年度を下回りました。利益面は、風水力事業のセグメント利益が減少しました。

その結果、当年度の連結業績は、受注高4,779億56百万円(前年度比2.7%減)、売上高4,761億4百万円(同2.1%減)、営業利益299億95百万円(同21.1%減)、経常利益284億64百万円(同22.0%減)、親会社株主に帰属する当

期純利益205億87百万円(同19.3%増)となりました。親会社株主に帰属する当期純利益の増加は、前年度に特別損失として訴訟損失引当金繰入額を計上した影響によるものです。

各事業セグメントの概況としては、風水力事業は、コンプレッサ・タービン事業の受注が低調に推移し、ポンプ事業も海外における石油・ガス関連需要の落ち込みが響きました。加えて、中国市場で厳しい競争環境が続く冷熱事業も前年度の受注高を下回ったことから、セグメント全体では売上高・利益とも大きく減少しました。

エンジニアリング事業は、施設の建設から長期的な運営までを含めたDBO案件1件、既存施設の基幹的設備改良工事1件、長期包括1件、木質バイオマス発電施設の建設工事2件の大型受注がありましたが、受注高は前年度を下回り、減収・減益となりました。

精密・電子事業は、サーバ向けストレージの需要増加を

背景に3次元NANDフラッシュメモリなどの投資が好調を示し、大手顧客のロジック先端投資も堅調に推移する中で、当社の主力製品であるCMP装置及びコンポーネント機器の需要が拡大しました。これにより売上高・利益ともに前年度比で2割以上の伸びを確保しました。



新たな中期経営計画について お聞かせください。

当年度で終了した3か年中期経営計画「E-Plan2016」は、経営基盤強化から成長に舵を切り、収益性を維持した規模拡大を目指してきました。その結果、エンジニアリング事業及び精密・電子事業において、売上高・営業利益の計画を上回る堅調な事業運営が続いたものの、外部環境悪化の影響を受けた風水力事業の低迷が響き、数値目標を掲げたROIC及び売上高営業利益率は、いずれも未達となりました。

当社グループは、E-Plan2016による成果と課題を踏まえ、第155期(2019年度)を最終年度とする新3か年中期経営計画「E-Plan2019」を策定し、スタートさせました。本計画では、「世界規模で事業展開し成長し続ける産業機械メーカ」の実現に向けて、全事業の収益性を徹底的に改善することを目標とし、「成長への飽くなき挑戦」を実践していきます。そして、収益基盤を市況変動によらない強固なものとし、さらなる成長を図ることを計画の基本方針に掲げ、数値目標としては、最終年度における「ROIC8.0%以上」、「売上高営業利益率9.0%以上」の達成を目指します。

E-Plan2019の詳細については、P5~6をご覧ください。

E-Plan2019初年度の第153期(2017年度)は、主に米国経済の牽引による世界景気の回復基調が続くことが想

定され、当社グループを取り巻く事業環境も緩やかに改善していくものと見込んでいます。その中で当社グループはE-Plan2019の基本方針に基づく成長戦略を着実に遂行し、より強固な収益基盤を築き上げながら業績の回復を果たしてまいります。

以上を前提に第153期の連結業績は、受注高4,040億円、売上高3,540億円、営業利益150億円、経常利益140億円、親会社株主に帰属する当期純利益80億円を予想しています。なお当社は、第153期より決算期を3月から12月に変更するため、上記の数値については9か月変則決算による業績予想を示しています。



株主の皆様へのメッセージを お願いします。

当社は2016年10月1日付で、普通株式の売買単位(単元株式数)を1,000株から100株に変更し、併せて中長期的な株価変動等を勘案しつつ投資単位を適切な水準に調整することを目的として、普通株式5株を1株とする株式併合を実施しました。

第152期の期末配当は、前年度の1株当たり6円と同水準とさせていただき、株式併合により5倍の同30円となりました。これにより中間配当の同6円と合わせた年間配当額は同36円(前年度と実質同額)となります。

当社グループは、E-Plan2019の目標の達成に向けて、競争し、挑戦する企業風土へと変革するため、人事制度を改定し、人材登用の活性化と実力主義・成果主義を徹底するとともに、組織運営の効率化を推進していきます。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2017年6月

E-Plan2016では、第152期(2016年度)を目標年度とする3か年を「『経営基盤強化』から『成長』へと明確に舵を切る変換点」と位置付け、高収益体質の構築と事業規模拡大を果たすための施策を遂行しました。

その結果、エンジニアリング事業、精密・電子事業は、売上高、営業利益において、計画を上回る堅調な事業運営が続きました。一方、風水力事業においては、原油価格低迷に伴う、顧客からの発注延期や投資判断の先送り、中国経済の成長鈍化による需要低迷、国内デフレ経済の長期化などの外部要因に加え、各事業での施策進捗の遅れなどの内部要因により計画が未達となり、全社における達成すべき目標も未達となりました。

グループ全体の実績

重要経営指標の目標値

投下資本利益率 (ROIC)

7.0%以上

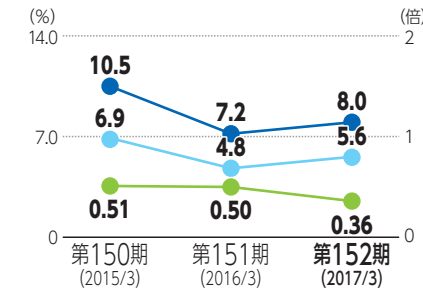
事業遂行上の重要指標の目標値

売上高営業利益率

8.0%以上

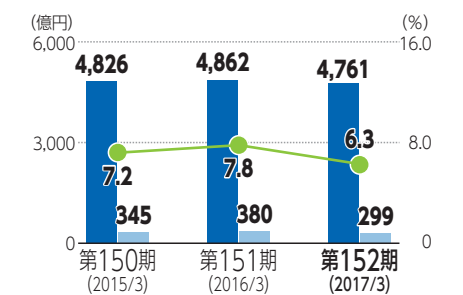
ROIC等の推移

● ROIC ● ROE ● D/ELシオ



売上高営業利益率等の推移

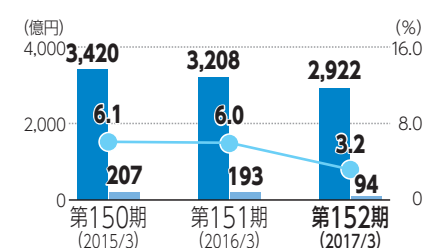
■ 売上高 ■ 営業利益 ● 売上高営業利益率



事業セグメント別の実績

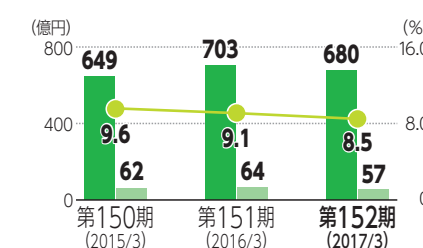
風水力事業

■ 売上高 ■ 営業利益 ● 売上高営業利益率



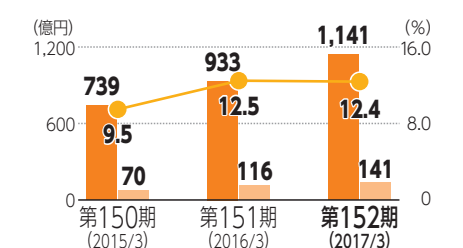
エンジニアリング事業

■ 売上高 ■ 営業利益 ● 売上高営業利益率



精密・電子事業

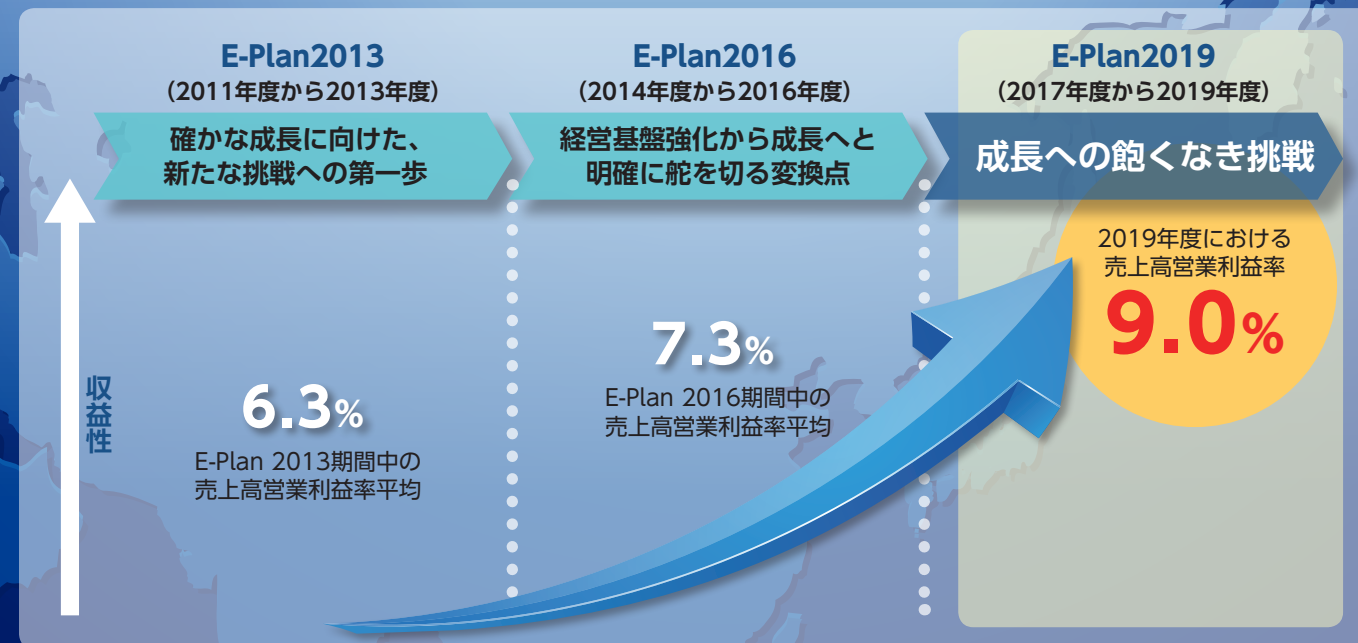
■ 売上高 ■ 営業利益 ● 売上高営業利益率



新中期経営計画「E-Plan2019」

「成長への飽くなき挑戦」

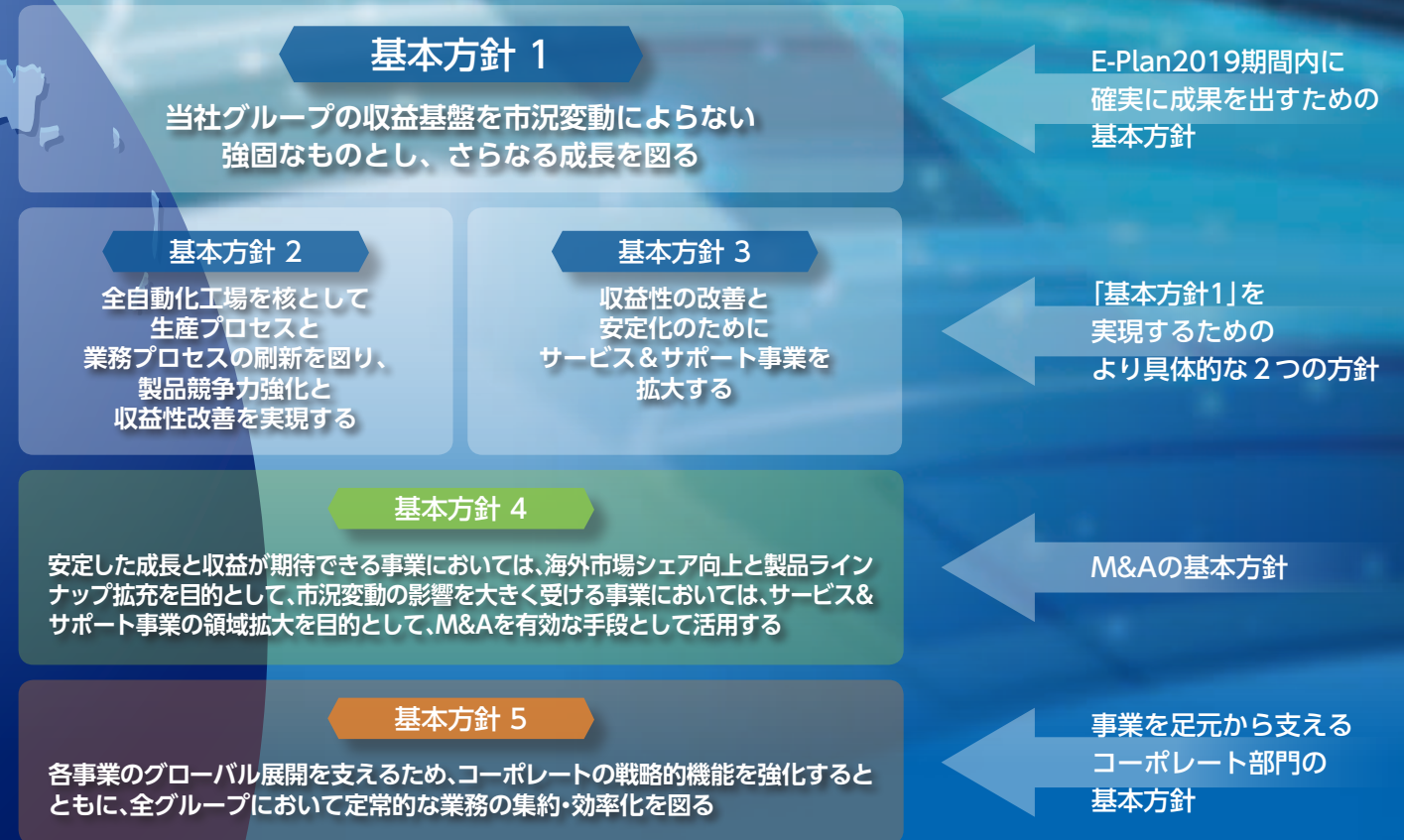
2017年度から2019年度までの3カ年を対象期間とする中期経営計画「E-Plan2019」を策定しました。世界規模で事業展開し成長する産業機械メーカーへとさらなる発展を目指すために、全事業の収益性を徹底的に改善することを目標とし、「成長への飽くなき挑戦」を実施していきます。



E-Plan2019において対処すべき課題

- 市況変動が小さく、安定した成長と収益の向上が期待できる事業
⇒ 事業の成長とさらなる収益性の改善を図る
- 市況変動の影響を大きく受ける事業
⇒ 市況の底でも収益が計上できるよう事業構造を変革する

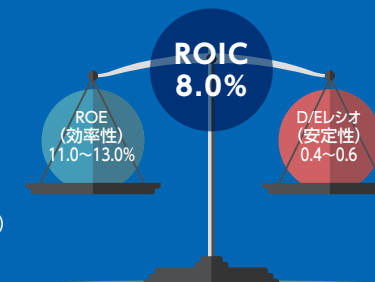
E-Plan2019 グループ基本方針の構造



2019年度において達成すべき目標

① 投下資本利益率(ROIC*) : 8.0%以上

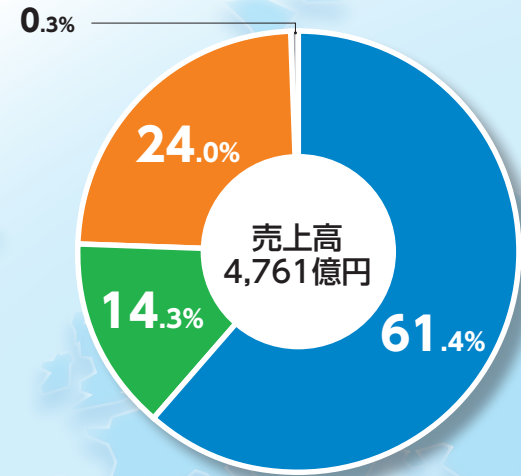
$$*ROIC = \frac{\text{親会社株主に帰属する当期純利益}}{\text{有利子負債(期首期末平均)} + \text{自己資本(期首期末平均)}}$$



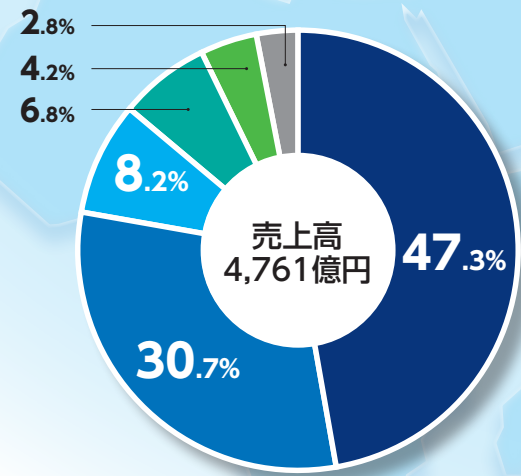
② 売上高営業利益率 : 9.0%以上

風水力事業	8.5%以上
ポンプ事業	8.0%以上
コンプレッサ・タービン事業	11.0%以上
冷熱事業	7.0%以上
環境プラント事業	11.0%以上
精密・電子事業	12.0%以上

■ 事業別売上高構成比



■ 地域別売上高構成比



<p>風水力事業</p> <p>2,922億円</p>	ポンプ コンプレッサ 冷凍機
<p>エンジニアリング事業</p> <p>680億円</p>	廃棄物焼却プラント ストーカ式焼却システム
<p>精密・電子事業</p> <p>1,141億円</p>	CMP装置 ドライ真空ポンプ めっき装置
<p>その他 16億円</p>	

● 日本	2,249	億円
● アジア (日本以外)	1,459	億円
● 北米	391	億円
● 欧州	321	億円
● 中東	201	億円
● その他	137	億円

詳しい事業セグメント別情報はP9~11をご覧ください。

詳しい業績情報は当社ウェブサイトへ <https://www.ebara.co.jp/ir/index.html>

■ 荏原グループ概要

- コーポレート**
 (連結子会社) 国内: 3社 海外: 1社 (その他) 国内: 3社
- 風水力機械カンパニー**
 (連結子会社) 国内: 8社 海外: 35社
 (その他) 国内: 2社 海外: 18社
 ●荏原冷熱システム(株) ●(株)荏原エリオット
 ●Ebara Pumps Europe S.p.A. ●Elliott Company 他

- 環境事業カンパニー**
 (連結子会社) 国内: 2社 海外: 1社
 (その他) 国内: 13社 海外: 1社
 ●荏原環境プラント(株) ●青島荏原環境設備有限公司 他
- 精密・電子事業カンパニー**
 (連結子会社) 国内: 1社 海外: 5社
 (その他) 海外: 1社
 ●(株)荏原フィールドテック ●Ebara Technologies Inc. 他

第152期 年間トピックス

□ 全社 □ 風水力事業 □ エンジニアリング事業 □ 精密・電子事業

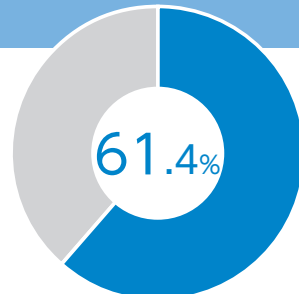
- 4月 「第3回IRグッドビジュアル賞」を受賞
- 4月 株式会社大林組より木質バイオマス発電設備を受注
- 5月 ベトナムにポンプ工場を新設
- 5月 CMP装置出荷累計台数2,000台達成
- 6月 第151期定時株主総会
- 6月 ごみ焼却施設の運営高度化に向け藤沢事業所内に遠隔サポート及び研修センターを新設
- 8月 サウジアラビアにポンプの製造・販売・サービス会社を新設
- 8月 佐倉市・汐々井町清掃組合向け ごみ焼却施設基幹的設備改良工事を受注
- 9月 「FTSE4Good Index」に13年連続で選定
- 10月 2016年度 第1回個人株主向け見学会を実施
- 10月 小山広域保健衛生組合向け ごみ処理施設を納入 20.5年間の運営業務を開始
佐久市・北佐久郡環境施設組合クリーンセンター建設・運営事業 受注
- 11月 2016年度 第2回個人株主向け見学会を実施
- 11月 熊本事業所内に新工場棟及びドライブ真空ポンプのオーバーホール用サービス工場を竣工
- 12月 立型多段ポンプEVMS型を日本国内向けに販売開始
海外向けに高効率化した新型片吸込渦巻ポンプGS型を販売開始
- 12月 ジャパン・リニューアブル・エナジー株式会社より木質バイオマス発電設備を受注
- 1月 「モーニングスター社会的責任投資株指数」の継続採用
- 1月 新製品ターボ冷凍機RTXF型を販売開始
- 1月 半導体産業用途向けに新型ドライ真空ポンプEV-L型を販売開始
- 2月 2016年度 第3回個人株主向け見学会を実施
- 2月 TSMC社から5年連続「Excellent Performance Award」を受賞
- 3月 「健康経営優良法人2017(ホワイト500)」に認定
- 3月 省エネルギーを実現するガス焚吸収冷温水機の開発を発表
米国ネバダ州の取水ポンプ場向けに世界最大級の水中ポンプを出荷
サウジアラビアの発電設備向けに世界最大級の大型海水ポンプを出荷
- 3月 刈谷知立環境組合向け 5年間の包括的運営管理業務委託を受注
船橋市北部清掃工場を納入 ※4月より運営委託業務を開始
武蔵野クリーンセンターを納入 ※4月より運営委託業務を開始



風水力事業

創業以来の主力製品であるポンプを始め、風水力機械製品・システムを事業の中核とし、長年培った技術と豊富な経験をもとに、生活・産業・社会インフラを支えています。

事業責任者(カンパニープレジデント) **大井 敦夫**



(事業別売上高構成比率)

主要製品

- ポンプ、コンプレッサ、タービン、冷熱機械、送風機

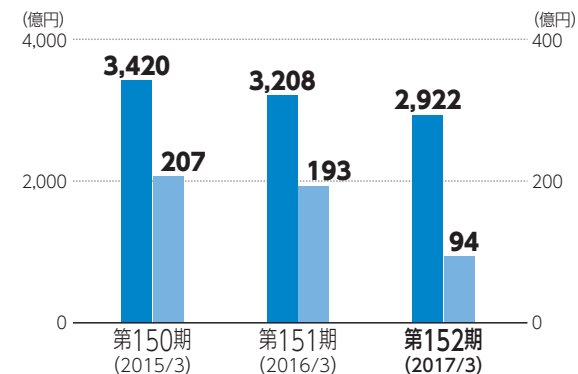
売上高 **2,922億円** 前年度比 **8.9%** ↓

営業利益 **94億円** 前年度比 **51.0%** ↓

ポイント

- ポンプ事業は海外において石油・ガス関連の受注が低調に推移。
- コンプレッサ・タービン事業は一部の地域で設備投資の動きが見られたものの市場の本格的な回復には至らず、受注は低調に推移。
- 冷熱事業は国内市場が回復基調だが、中国市場で厳しい競争環境が継続し、受注は減少。

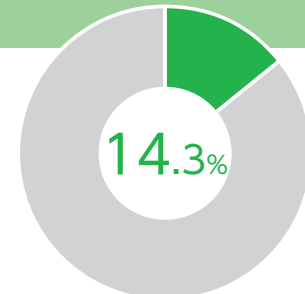
■ 売上高 / ■ 営業利益の推移



エンジニアリング事業

固形廃棄物処理の分野で、施設的设计・建設から維持管理、運営までトータルソリューションを提供しており、事業活動を通じて循環型社会の形成に貢献しています。

事業責任者(カンパニープレジデント) **市原 昭**



(事業別売上高構成比率)

主要製品

- 都市ごみ焼却プラント、産業廃棄物焼却プラント、バイオマス発電プラント

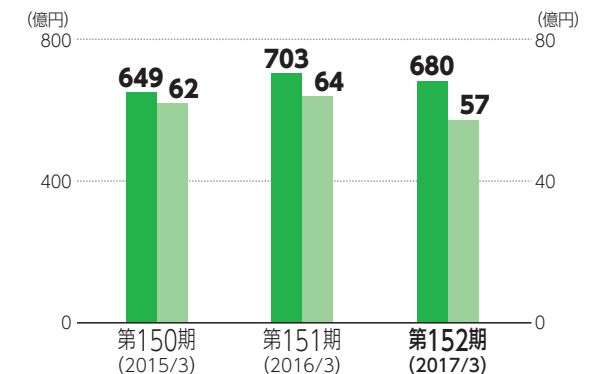
売上高 **680億円** 前年度比 **3.3%** ↓

営業利益 **57億円** 前年度比 **10.4%** ↓

ポイント

- 廃棄物処理施設の建設工事(EPC)や施設の建設から長期的な運営までを含めたDBO方式での発注は、例年どおり推移。
- 民間企業のバイオマス等を用いた発電施設の計画が増加。
- 大型案件の受注件数減少により受注は減少。

■ 売上高 / ■ 営業利益の推移



ベトナム新ポンプ工場 全景

ベトナムにポンプ工場を新設

風水力事業では、2016年5月、ベトナムのハイズン省ライカック工業団地に、グループ会社Ebara Vietnam Pump Company Limitedの新ポンプ工場をオープンしました。

ベトナムでは20年以上前から拠点を構えており、同国内の農業・灌漑事業を始め、上下水道・洪水対策向けなどに1,000台以上のポンプを納入しています。新工場の敷地面積は旧工場の約3.5倍であり、大型ポンプを始め多様なニーズに対応するポンプの生産体制に加え、素形材(鋳物、製缶)生産からポンプの試験までを一貫して行う生産体制を構築しました。

今後も、従来の灌漑・排水・上下水分野のほか、電力・肥料・化学プラント等の幅広い分野において、グローバルにポンプを供給することにより、各種産業の発展と生活環境の向上に貢献してまいります。



船橋市北部清掃工場

武蔵野クリーンセンター

武蔵野クリーンセンター、船橋市北部清掃工場を竣工

エンジニアリング事業は、武蔵野市と船橋市に、新たなおみ焼却施設である「武蔵野クリーンセンター」及び「船橋市北部清掃工場」を2017年3月に竣工し、それぞれ4月から長期包括による運営委託業務*を開始いたしました。

両施設では、ごみを適切に処理して発電するとともに、武蔵野クリーンセンターは、「環境啓発拠点」として市民が自由に見学しながら環境学習をすることができる開かれた施設とし、また、船橋市北部清掃工場は、余熱を利用した温浴施設(メグスパ)を併設し地域住民の健康増進を目指す施設とするなど、地域に根ざした場とサービスを提供してまいります。

今後も、ごみ処理施設の建設と運営を通じて循環型社会の形成に貢献し、事業の価値向上に努めてまいります。

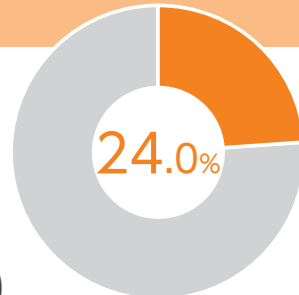
*武蔵野クリーンセンター：20年間の運営委託業務
船橋市北部清掃工場：15年間の運営委託業務



精密・電子事業

ナノテクノロジー時代の顧客ニーズに応じた半導体製造装置、コンポーネント機器の開発から販売・サービスまで行い、さらには次世代技術に対応する装置を開発・製造しています。

事業責任者(カンパニープレジデント) 浅見 正男



(事業別売上高構成比率)

主要製品

- 真空ポンプ、CMP装置、めっき装置、排ガス処理装置

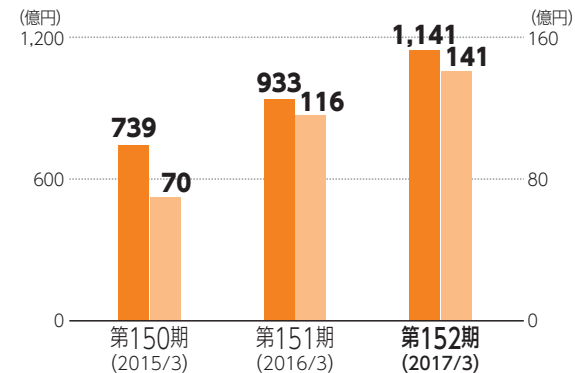
売上高 **1,141億円** 前年度比 **22.3%**

営業利益 **141億円** 前年度比 **20.7%**

ポイント

- サーバ向けストレージの需要増加に伴い、3次元NANDフラッシュメモリなどの投資が好調に推移したほか、大手顧客のロジック先端投資も堅調に推移し、CMP装置及びコンポーネント機器の需要が拡大。

売上高 / 営業利益の推移



熊本新工場



サービス工場

熊本新工場稼働

精密・電子事業では、熊本事業所内に新工場とドライ真空ポンプのオーバーホール拠点としてのサービス工場を2016年11月に竣工し、2017年1月に稼働しました。

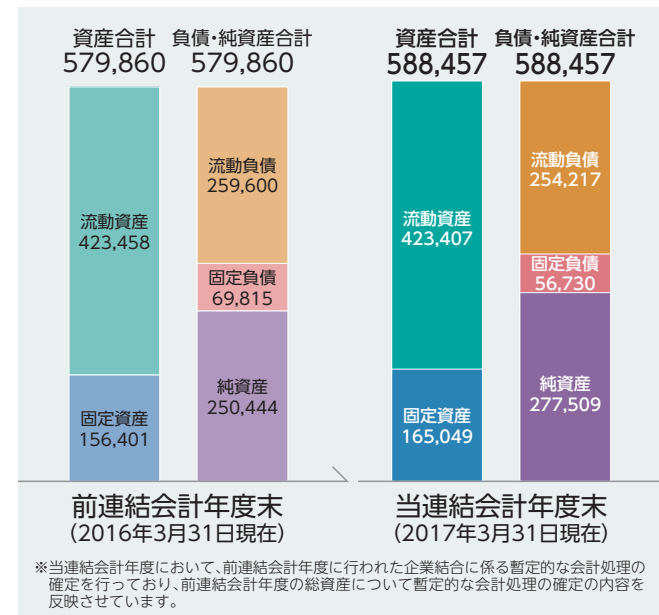
新工場棟増設により、装置の生産能力を最大で従来の2倍に拡大することが可能となるとともに、顧客ニーズや納期などへの対応と精密・藤沢工場を含めた生産運営を、さらに柔軟に行うことが可能になります。

また、サービス工場は、既存の九州サービス工場に比べ3倍超のオーバーホール処理能力を有し、九州・中国地域を中心としたドライ真空ポンプのオーバーホール拠点となります。

今後も、これからもお客様の要望に応えた高機能半導体製造装置の提供とサービス&サポート体制の拡充を図り、変化のスピードが速い半導体業界において、顧客ニーズに柔軟に対応し、事業拡大を図ってまいります。

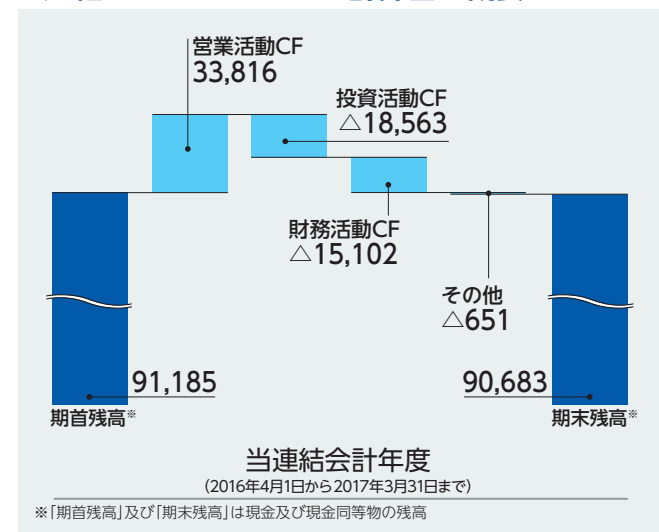
連結貸借対照表の概要

(単位：百万円)



連結キャッシュ・フロー計算書の概要

(単位：百万円)



連結損益計算書 (要約)

(単位：百万円)

科目	前連結会計年度 (2015年4月1日から2016年3月31日まで)	当連結会計年度 (2016年4月1日から2017年3月31日まで)
売上高	486,235	476,104
売上原価	353,344	350,032
売上総利益	132,891	126,072
販売費及び一般管理費	94,879	96,076
営業利益	38,011	29,995
営業外収益	2,357	2,082
営業外費用	3,897	3,613
経常利益	36,471	28,464
特別利益	2,049	2,677
特別損失	6,834	645
税金等調整前当期純利益	31,686	30,497
法人税、住民税及び事業税	9,581	5,546
法人税等調整額	3,207	3,299
当期純利益	18,896	21,651
非支配株主に帰属する当期純利益	1,642	1,063
親会社株主に帰属する当期純利益	17,254	20,587

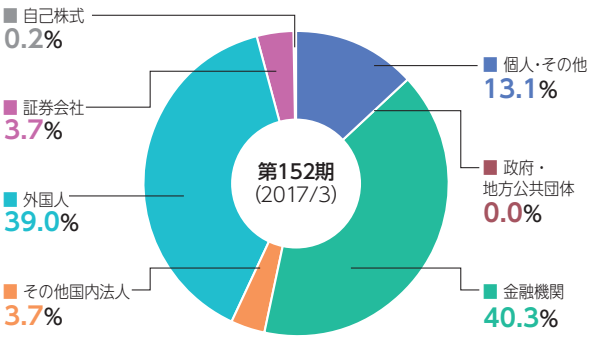
■ 株式の状況

- 発行可能株式総数 200,000,000 株
- 発行済株式の総数 101,736,053 株
- 株主数 24,783 名
- 大株主 (上位10社)

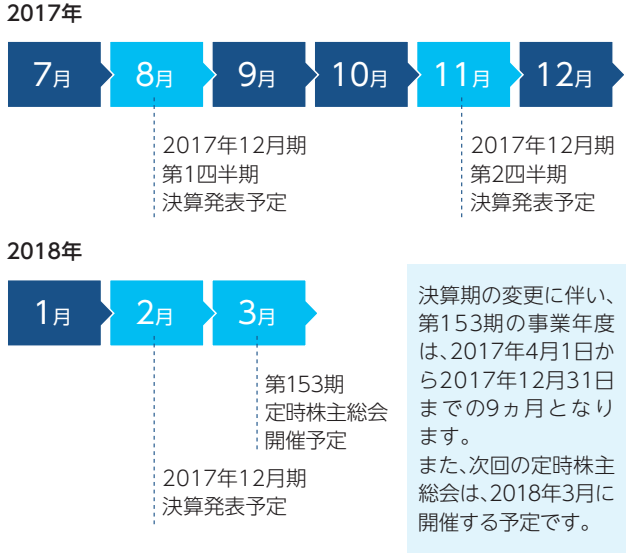
株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	10,021	9.9
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	9,627	9.5
いちごトラスト・ピーティーイー・リミテッド	7,170	7.1
THE BANK OF NEW YORK 133522	2,336	2.3
株式会社みずほ銀行	2,000	2.0
全国共済農業協同組合連合会	1,874	1.8
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口5)	1,740	1.7
GOLDMAN,SACHS& CO.REG	1,740	1.7
資産管理サービス信託銀行株式会社(証券投資信託口)	1,536	1.5
株式会社三菱東京UFJ銀行	1,425	1.4

(注)持株比率は、自己株式(187,635株)を控除して計算しています。

● 所有者別株式分布状況



■ IRカレンダー



(2017年3月31日現在)

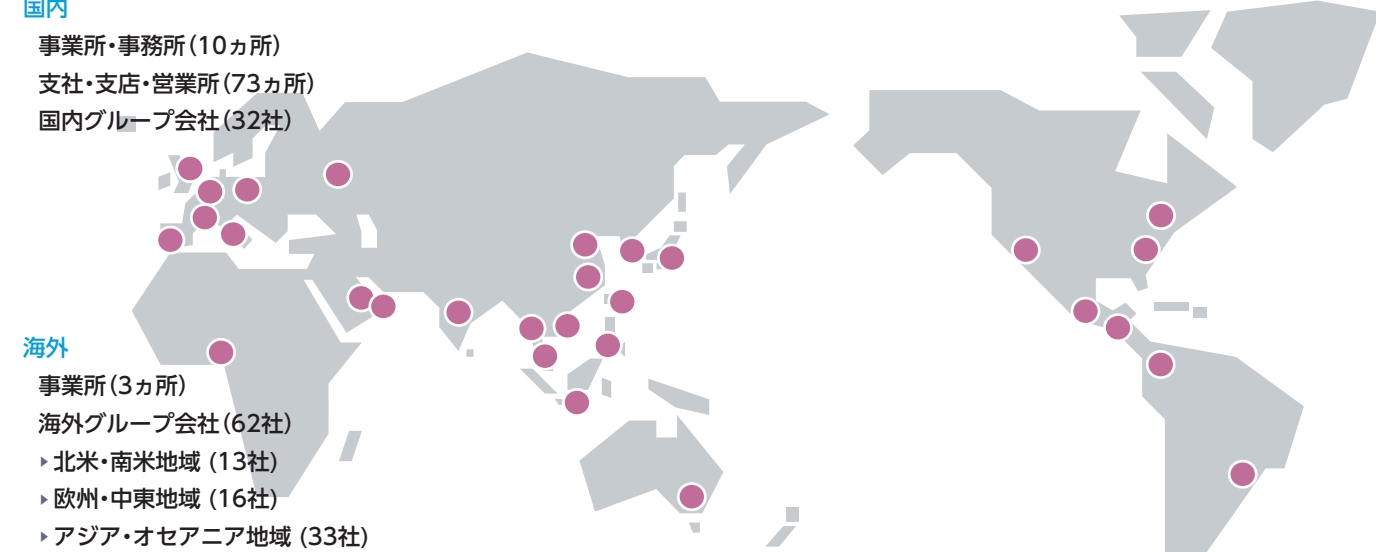
■ 会社概要

- 創業 1912年 11月
- 設立 1920年 5月
- 役員 (2017年6月23日現在)
- 資本金 787億6,483万9,023円
- 従業員数 4,014名 (連結:16,317名)

取締役		執行役	
取締役会長 矢後 夏之助	社外取締役 山崎 彰三	代表執行役社長 前田 東一	執行役 飯島 久
取締役 前田 東一*	社外取締役 佐藤 泉	執行役専務 辻村 学	執行役 長峰 明彦
社外取締役 宇田 左近	取締役 藤本 哲司	執行役専務 大井 敦夫	執行役 宮下 俊彦
社外取締役 並木 正夫	取締役 辻村 学*	執行役常務 野路 伸治	執行役 勝岡 誠司
社外取締役 国谷 史朗	取締役 大井 敦夫*	執行役常務 木村 憲雄	執行役 喜田 明裕
社外取締役 松原 亘子	取締役 津村 修介	執行役常務 浅見 正男	
社外取締役 澤部 肇		執行役常務 市原 昭	

*は執行役兼務

● 拠点



個人株主向け見学会のご案内

株主の皆様当社へのご理解を一層深めていただけるよう、個人株主向け見学会を開催いたします。この機会にぜひご応募ください。

第1回(Aコース)

荏原製作所
富津事業所
見学会
(風水力事業)

日 時	2017年10月12日(木) 13:00~17:00(予定)
対 象 者	2017年3月31日現在、当社株式を100株以上保有の株主の方 (小学生以上の同伴者様1名まで可)
集 合・解 散	荏原製作所 本社(羽田)
募 集 人 数	50名(同伴者含む)
参 加 費	無料(ただし集合・解散場所までの往復交通費は各自のご負担とさせていただきます)

第2回(Bコース)

荏原製作所
藤沢事業所
見学会
(精密・電子事業)

日 時	2017年12月13日(水) 13:00~17:00(予定)
対 象 者	2017年3月31日現在、当社株式を100株以上保有の株主の方 (小学生以上の同伴者様1名まで可)
集 合・解 散	JR藤沢駅
募 集 人 数	50名(同伴者含む)
参 加 費	無料(ただし集合・解散場所までの往復交通費は各自のご負担とさせていただきます)

お問合せ先

株式会社荏原製作所 経営IR課 SR担当

TEL: 03-3743-6111(代表)

9:00~17:00(土・日、祝日、その他会社の休業日を除く)

応募方法

郵便はがき又は当社WEBサイトのいずれかにてご応募ください。

応募締切

7月31日(月)

※はがきの場合は当日消印有効

- ご応募多数の場合は抽選となります。厳正な抽選のうち、当選発表及び見学内容の詳細はご当選者への発送をもって代えさせていただきます。
- 複数枚でのご応募はご遠慮願います。
- 見学会当日は施設内禁煙となっております。
- 階段の昇り降りなどお歩きいただくことがございますので、あらかじめご了承願います。
- 荒天等、諸般の事情により内容が変更又は中止となる場合がございます。その場合はご当選された株主様にご連絡させていただきます。
- 当社が見学会で撮影した写真は、ホームページや株主向け報告書、社内報などに掲載・使用させていただく場合がございますのでご了承願います。

個人情報の取扱いについて

今回ご応募いただきました株主様及びご同伴者様の個人情報は、本見学会の実施以外の目的では一切使用いたしません。

郵便はがき

郵便はがきに右記の必要事項を記入のうえ、ご応募ください。

WEBサイト

下記URL又はQRコードからご応募ください。



https://www.ebara.co.jp/contact/ir_kengaku/index.html

●はがき記入要領●

62円切手	〒144-8510 東京都大田区羽田旭町11-1 株式会社荏原製作所 経営IR課 個人株主向け見学会係	株主様 ①郵便番号 ②ご住所 ③お名前(ふりがな) ④年齢 ⑤電話番号 ⑥株主番号 ⑦参加希望コース(A,B) ご同伴者様 ①お名前(ふりがな) ②年齢 ③株主様とのご関係
-------	---	---

2016年度 個人株主向け見学会のご報告

2016年度は生産工場や製品納入現場など、合計3回の見学会を実施し、約70名の株主様及びご同伴者様にご参加いただきました。見学会では、事業内容の説明、施設見学、質疑応答などを行いました。今後も株主の皆様とのコミュニケーションを深める良い機会として、見学会等の企画を継続して実施していきます。

2016年度の実施状況

第1回	2016年10月21日	富津事業所見学
第2回	2016年11月18日	風水力事業の現場見学
第3回	2017年 2月28日	エンジニアリング事業の現場見学



見学会の詳細は、当社ウェブサイトでご確認いただけます。
<https://www.ebara.co.jp/about/ir/releases/index.html>



■ 株主メモ

- 事業年度** 毎年4月1日から翌年3月31日まで
- 定時株主総会** 毎年6月に開催
- 基準日** 3月31日
その他必要あるときは、あらかじめ公告いたします。
- 配当金受領** 3月31日
- 株主確定日** 中間配当を実施するときの株主確定日は9月30日
- 株主名簿管理人** 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社
- 特別口座の
口座管理機関** 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社
- 郵便物送付先** 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先) ☎ 0120-782-031 (フリーダイヤル)
取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の本店及び
全国各支店で行っております。
- 公告方法** 電子公告 <http://www.ebara.co.jp>
ただし電子公告による公告ができない場合は、
日本経済新聞に掲載して行います。
- 単元株式数** 100株
- 上場証券取引所** 東京証券取引所

■ 単元株式数の変更及び株式併合についてのご案内

当社は、2016年10月1日をもって、当社普通株式の単元株式数を1,000株から100株に変更するとともに、株式併合(5株を1株に併合)を実施いたしました。なお、この単元株式数の変更及び株式併合に伴う株主様による特段のお手続きの必要はございません。

■ 単元未満株式買取・買増請求制度のご案内

買取請求

100株未満の株式を、当社に対して**市場価格で売却**できる制度です。

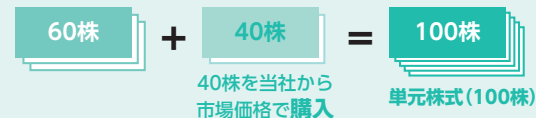
<例> 60株を保有の場合、市場では売却できませんが、市場価格で当社が買い取りいたします。



買増請求

100株(単元株式)に不足する数の株式を、**当社から市場価格で買い増し、単元株にすることが**できる制度です。

<例> 60株を保有の場合、40株を買い増して、100株とすることができます。



■ 未払配当金の支払いについて

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

■ 株主様のご住所・お名前に関する文字についてのご案内

株券電子化実施に伴い、株主様のご住所・お名前の文字に、株式会社証券保管振替機構(ほふり)が振替制度で指定していない漢字等が含まれている場合は、その全部又は一部をほふりが指定した文字又はカタカナに変換して、株主名簿にご登録いたしております。このため、株主様にご送付する通知物の宛先が、ほふりが指定した文字に置き換えられる場合がありますのでご了承ください。株主様のご住所・お名前として登録されている文字については、お取引の証券会社等にお問い合わせください。

■ 住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

当社グループは、「芸術・技術振興」、「環境保全」、「スポーツ振興」、「地域交流」、「社会福祉活動」を地域・社会への取組みの5つの柱とし、社会貢献活動に取り組んでいます。

■ ホーチミン工業大学にポンプを寄贈

当社は、技術指導を通じた国際協力活動の一環として、2016年12月17日にホーチミン工業大学(Industrial University of Ho Chi Minh City)に、ポンプを寄贈しました。

また、ポンプを贈呈した際、同大学にてポンプ・冷凍機のセミナーを開催し、ポンプの基礎知識・要項の決め方、冷凍機の仕組み・選定方法などを中心に講義を行いました。



寄贈したポンプ

■ 家庭用井戸ポンプHPE型で熊本応援キャンペーンを実施

内容 HPE型1台売上毎に¥500を熊本県に寄附

期間 2017年2月1日～3月31日

贈呈品 ご賛同いただいたお客様に、HPE型(くまモン型)ミニチュアフィギュアを贈呈

当キャンペーンによる寄附金の総額は、3,221,500円となりました。当社グループは、今後も被災地の復興に継続的に取り組んでいきます。
※当キャンペーンは既に終了しています。



贈呈したミニチュアフィギュア

■ 富山記念館へのご招待

■ 荏原と富山記念館

荏原の創業者である、富山一清(号・即翁)愛蔵の美術品を受け継いだ富山記念館は、昭和39年に開館以来、茶の湯の美術館として親しまれています。荏原グループは富山記念館を後援しています。

■ 富山記念館の概要

富山記念館は、茶道具を中心に、書画、陶磁器、漆芸品、能装束など、日本、中国、朝鮮の古美術品を展示公開している私立美術館です。収蔵品は、国宝6件、重要文化財33件を含む約1,300件。春夏秋冬季節の移り変わりに合わせて年4回、作品を取り合わせて展示しています。

〒108-0071 東京都港区白金台2-20-12
TEL 03-3447-5787

<https://www.ebara.co.jp/csr/hatakeyama/>

都営浅草線

高輪台駅 A2出口下車徒歩5分

東京メトロ南北線・都営三田線

白金台駅 1番出口下車徒歩10分

開館期間は下記の期間となります。
(会期中休館日)
月曜日(祝日のときは翌火曜日)・展示替日

夏
季
展

■ 茶の湯ことはじめⅡ

2017年8月5日(土)～9月18日(月・祝)

「床の間」「茶室」「濃茶」「取り合わせ」など、茶の湯に関するキーワードで展示を構成し、茶道具の鑑賞のポイントをご紹介します。本展は、昨夏ご好評いただいた「茶の湯ことはじめ」の第2弾として、新たなキーワードをご用意して茶の湯の魅力をお伝えします。「茶の湯の世界は堅苦しくて難しい」と敬遠することはありません。たくさんの驚きと感動にあふれることうけあいです。



阿蘭陀莖の葉水指

秋
季
展

■ 近代数寄者の交遊録

—益田鈍翁・横井夜雨・富山即翁

2017年10月7日(土)～12月17日(日)

近代の日本経済界を牽引した実業家であり、有数の日本美術コレクター、茶人であった益田鈍翁(孝・1848～1938)と茶友・横井夜雨(半三郎・1883～1945)、そして富山即翁の交流にスポットをあてます。彼らの旧蔵品や好み物、自作の書画や茶道具に加えて、遺された膨大な手紙類をひもときながら、近代数寄者のすがたを探ります。折しも、今年は益田鈍翁の80年忌にあたります。ゆかりの品を厳選してご紹介します。ご期待ください。



重文 柿の帯茶碗 銘 毘沙門堂

ご招待券

夏
季
展

■ 茶の湯ことはじめⅡ

有効期間:2017年8月5日～9月18日

2名様までご利用いただけます。

ご招待券

秋
季
展

■ 近代数寄者の交遊録

—益田鈍翁・横井夜雨・富山即翁

有効期間:2017年10月7日～12月17日

2名様までご利用いただけます。

「熱」を「笑顔」に変える使命。

当社の技術が人々を笑顔にするお手伝いをしています。

人々に癒しをもたらす水族館の多種多様な海の生物。
人間より緻密な温度管理が求められるこれらの生物に対し、
本来の生息環境に合わせた水温や室温を提供するため、
当社グループの冷熱製品とその運用を支えるサービス&サポートが
貢献しています。



こんなところに荏原の技術



千葉県鴨川シーワールドでは、水温の低い沿岸に多く生息するシャチのプールの環境設備としてターボ冷凍機を始め、ポンプ・ろ過装置等の当社グループ製品を長きにわたりご採用いただいています。



稼働中のターボ冷凍機

製品情報

2017年1月に新型ターボ冷凍機「RTXF型」を発売しました。
1930年に国産第1号ターボ冷凍機を世に送り出して以来、長年の実績とノウハウをいかし、高い効率と低圧冷媒ならではの使いやすさを追求しています。



新型ターボ冷凍機 RTXF型

1955年に我国初となる角形クロスフロー式冷却塔の製造販売を開始して以来、シンワクーリングタワーは国内外に広くご採用いただいております。角形、丸形、又は密閉型、白煙防止型等、お客様のニーズに的確にお応えします。



角形カウンターフロー冷却塔 SDC型

※当社グループの冷熱製品は、荏原冷熱システム株式会社で製造・販売、アフターサービスの事業を行っています。



株式会社 荏原製作所

〒144-8510 東京都大田区羽田旭町11番1号
電話 (03) 3743-6111 (ダイヤルイン代表)

